

中学生社会体験チャレンジによる
町長インタビューで
「交通死亡事故ゼロ」を聞く

中学生：今後も交通死亡事故を起こさないために、これからどのようなことをしていきますか？

町長：鳩山町の交通死亡事故ゼロ継続日数は3,220日を超え、平成30年の2月2日には満9年、さらにその1年後には満10年ということになります。といっても、交通事故が起きていないわけではありません。

交通事故を防ぐには決め手がある訳ではなく、啓発活動が重要です。役場の庁舎にも、横断幕と懸垂幕を掲示していますし、12月8日は、熊井交差点で冬の交通事故防止運動に伴う啓発活動をしました。

町民一人一人が気を付けていただくことが大切だと思いますので、やはり交通死亡事故ゼロを継続していることを、町民の多くの人たちに知っていただいて、そのことが一つのきっかけになって交通安全に努めてもらえれば良いと思っています。

中学生：2日前、私たちも車に乗って交通安全を呼びかける啓発活動を体験しました。

町長：そうですね。小・中学校で開催している交通安全教室などで、自転車事故や交差点事故の危険性などを学ぶ時間も大切な取り組みだと考えています。私は、小学生の頃、近所に住む年下の友だちを交通事故で亡くした経験があります。そうした喪失感を、皆さんには経験してほしくないと思っています。そのために、町ができることをがんばります。

中学生：本日はありがとうございました。



12月6日～8日、中学生社会体験チャレンジ事業が行われ、鳩山町役場でも3名の1年生に、啓発活動や施設管理、イベント準備、広報業務などを体験していただきました。(写真は、広報業務におけるインタビュー体験の様子です)

町長が選ぶ
平成29年町内5大ニュース

①埼玉県65歳健康寿命、2年連続男女とも県内第1位に(9月)

②町内交通死亡事故ゼロの更新日数が県内最長の3,219日を突破(11月)



西入間交通安全協会鳩山支部、鳩山町交通安全母の会などの皆さん

③福祉健康・多世代交流複合施設内に「鳩山町地域包括ケアセンター」が開所(7月)

④「新学校給食センター」建設で、より安心でおいしい給食開始(9月)

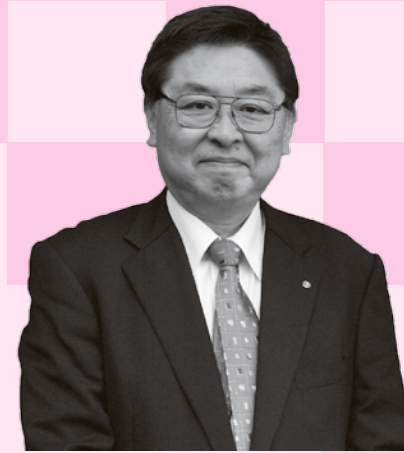
⑤住宅団地アクティブ化に向け「鳩山町コミュニティ・マルシェ」がオープン(7月)

施設「上熊井農産物直売施設」整備に關しましては、「農山漁村振興交付金」事業計画に基づき着実な事業展開を図ります。次に、「ニュータウン地域再生・創造事業」ですが、昨年整備した鳩山町コミュニティ・マルシェでは、指定管理者の自主事業として様々なイベントが開催されており、多くの住民の方が気軽に交流できる機会が提供されております。今後も、必要な施設機能を強化しながら、移住や起業、町の活性化を促進する場として、町民の皆さんのアイデアや力を後押ししたいと思います。

超高齢化社会に対応するまちづくりへ
人口減少や少子高齢化が進む鳩山町の高齢化率は、県内1位の40・95%ですが、町民の皆様は非常に大きな力を持っていると確信しています。この力をお借りし、これからの「超高齢化社会」に対応するまちづくりに、全力で取り組む考えですので、町民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。結びに、鳩山町民すべての皆様にとりまして、素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。

謹賀新年

鳩山町長 小峰 孝雄



新年のご挨拶

「いつまでも住み続けられる」まちへ

鳩山町民の皆様、明けましておめでとうございます。さて、昨年を振り返り2点ほど述べさせていただきます。一つ目は、鳩山町では、生活の質を考慮し、「あと何年、自立して健康に暮らせるか」を示す県の指標である「埼玉県65歳健康寿命」で、一昨年に引き続き、2年連続男女とも県内第1位になりました。注目すべき点は、今回の平成27年データでは、男性が19・05、女性が21・36年と、前回より男女とも健康寿命を伸ばしての1位となったことでございます。健康寿命の延伸に必要なものとして、転倒などをしないための筋力を意識的に身につける「運動」、バランスのとれた「栄養」、楽しみや生きがいとなる「社会参加」の3つを重要視し、昨年には「健康長寿のまち」として「やま」宣言をしました。今後も、町の健康寿命のさらなる延伸に

向け、町民の皆様と町が互いに協力して取り組んでいきたいと考えております。二つ目は、町内交通死亡事故ゼロの更新日数が3,200日を突破したことでございます。昨年4月22日に交通死亡事故ゼロ継続日数3,000日を達成し、11月27日には東秩父村の持つ県内に現存する自治体の最長期間3,219日の記録を更新し県内自治体1位となりました。この記録達成は、町民の皆様をはじめ、西入間警察署や西入間交通安全協会鳩山支部、西入間地区安全運転管理者協会、鳩山町交通安全母の会、自転車安全利用指導員の皆様などのご尽力があつてこそ達成できたものと感謝しております。交通事故発生件数は減少傾向にございますが、高齢者による事故や自転車事故は後を絶ちません。ぜひ、学校や地域、ご家庭内においても、改めて交通事故



耐震・大規模改修を行う多世代活動交流センター

防止や交通安全について、見つけ直していただけると幸いです。鳩山らしい「地域包括ケアシステム」の構築へ
今年、昨年完成した「地域包括ケアセンター」を核として、住み慣れた地域にいつまでも住み続けられるよう、これまでの健康づくり施策と連動した、鳩山らしさを活かした「地域包括ケアシステム」の構築を積極的に進める年となります。また、同施設の敷地内にある、閉校した小学校を活用し、町民

の皆様の多様かつ主体的な活動を支援し交流の輪を広げる「多世代活動交流センター」の耐震・大規模改修に取り組みます。今後も、多世代にわたる交流が図られることにより、さらなる町の活性化に期待しております。最重要事業に位置付ける北部地域とニュータウン
平成30年度予算編成の最重要事業の一つ「北部地域活性化事業」では、(仮称)鳩山新ごみ焼却施設整備と一体的に取り組み事業として、昨年1月から、上熊井地区から東松山市の東武東上線高坂駅を結ぶ町営路線バスの運行を開始しております。今年度は、平成30年度末の越生駅東口の開設に併せ、越生駅から高坂駅を結ぶ地域間幹線バスとしての運行を目指します。また、北部地域の活性化拠点施設となります「泉井交流体験